

# あづか

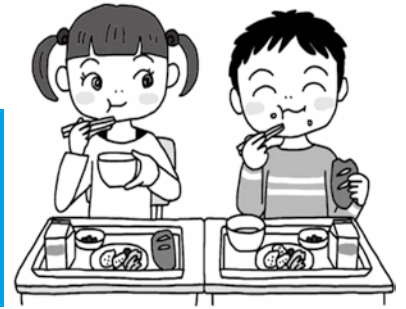


## 第3回定例会

10月21日、湯船マウンテンバイクランドで和東小学校6年生がマウンテンバイクの試乗を体験しました。

決算	30年度決算概要・主な質疑 >>>	P.2
決まったこと	補正・条例改正他 >>>	P.5
一般質問	4人が町政を問う >>>	P.7
委員会報告	総務厚生・産業他 >>>	P.12
まちの元気	和東中学校生徒会 関西茶品評会 2等 >>>	P.14

# まで医療費無料化を実施 充実を高く評価



## 第3回 定例会では

(9月11日開会  
26日閉会)

町長提出の平成30年度決算認定、令和元年度補正予算、6本の条例改正、「過疎自立促進計画」の変更、議員発議の2本の意見書等を審議しました。一般質問は、4人の議員が質問に立ち、町政の課題について町長等に質しました。決算認定は、19、20日に全議員で構成する決算特別委員会で審議。平成30年度に取組まれた事業の成果や課題、予算の使い方等について質疑を行い、討論、採決の結果、一般会計及び特別会計の決算認定を原案通り可決、認定しました。

### 子育て支援 定住促進

平成30  
年度は小

中学生の給食費と修学旅行費の無償化、18歳までの医療費無料化が実施され、子育て支援の充実が図られました。同時に30年度中に実施された子育て世帯へのニーズ調査では経済的負担の軽減が引き続き強い願いになっています。30年度の出生数が15人と少子化に歯止めがかからない中、さらなる充実が求められます。

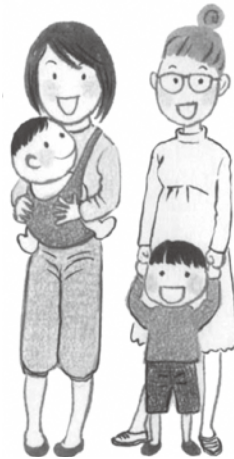
### 空き家バンク、移住支援 に期待と課題

定住促進には住宅確保が重要となり、町は空き家バンクを立上げ、湯船区を移住特区に指定し府町合わせて180万円の移住補助金を用意し、お試し住宅も整備しました。バンク登録は8件で活



「住む場所」の確保は定住のカギ

用も始まり受け皿として期待される一方、登録数が増えない実態も。「住む場所」をどう確保するかが引き続き大きな課題となっています。



### 交流人口増 産業振興

町は「交流人口の拡大を見据えた環境整備」として、グリーンテイ和東改

修や駐車場の整備とともに、「お茶の駅」構想を立上げ、地域経済牽引事業による民間企業の活動を支援。また農泊での修学旅行生の受入れ事業も推進すると共に、2年後のワールドマスターズゲームズ(WMG)開催に向けた環境整備が進められました。

### 観光の進め方に注力

審議では「お茶の駅」構想関連事業について、一千数百万円計上していた予算の多くが未支出だった事に対し「計画性がなかったのでは」「計画通り進んでいないのでは」等の指摘も。W.M.G開催期間中の観光ツアー等の検討の要望もありました。討論では、観光事業や交流人口拡大の取組みを評価する意見がある一方、受



たくさんの来場者でにぎわう茶源郷まつり



入れ体制の遅れによる弊害や住民的議論と合意に基づく取組みになっていないとの意見も出されました。

# 給食費・修学旅行費の無償化、18歳

## 平成30年度 決算

# 子育て支援

### 税等の徴収率は向上したが・・・

30年度は現年度の町税や公共料金等の徴収率が向上し、その理由等について多くの質疑があり、町は「広報の強化等により納税意識が向上」等と答弁しています。その一方で審議では「納税相談に行っても税機構に回されるだけとの声がある」「町は相談がなければ訪問も連絡もしない中、税機構は機械的な督促しかしない」等、税務行政のあり方を問う指摘も出されました。

### 試行錯誤続く公共交通の課題

30年度の奈良交通バス運行への町負担額は3507万円で、前年度より若干利用者が増加したものの約200万円負担が増え、引き続き厳しい状況が続いています。町は30年度に観光用で運行したゴルフカートを「住民の足」にも活用できないか実証実験を実施する意向を示しましたが、運行距離の限界や気象条件に影響されやすい問題もあり、今後の動きを注視する必要があります。

**停電の影響や備え、要配慮者の避難対応は**  
30年度は大阪北部地震や台風の影響も相次ぎ、長時間の停電が町全域で発生しました。審議では停電の原因や上下水道への影響が議論され、深刻な事態になる危険性も明らかになりました。また高齢

者等の要配慮者の避難への対応では、名簿はあるものの未活用など実効性の弱さも課題になっていきます。

**災害に強いまちづくり**

災害が頻発する中、防災対策の強化は重要課題です。30年度は、地域防災計画の見直し、指定避難所の体験交流センターの耐震診断、小学校でのマンホールトイレ整備に向けた準備等が実施されました。

### 和東でのシルバー人材センターの設立は？

府内でセンターがないのは和東を含め3自治体を残すのみ。町は早期の実現を目指し検討中ですが30年度も設立には至らず。一日も早い実現が望まれます。



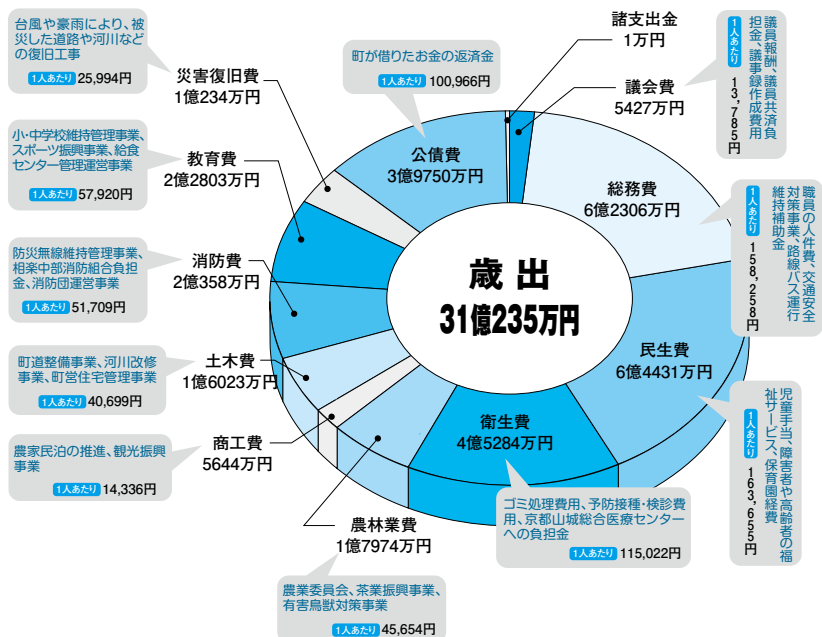
## 平成30年度特別会計決算

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
湯船財産区	1,265万円	1,189万円	76万円
国保(事業)	7億5,201万円	7億1,770万円	5,031万円
国保(直診)	9,893万円	9,733万円	160万円
簡易水道事業	2億3,669万円	1億9,753万円	1,116万円
下水道事業	2億2,367万円	2億1,787万円	580万円
介護保険(事業)	6億2,849万円	6億1,940万円	909万円
介護保険(サービス)	463万円	440万円	23万円
後期高齢者医療	6,794万円	6,753万円	41万円
合計	19億9,701万円	19億1,765万円	7,936万円

※万円未満切り捨てのため、差引額、合計額に誤差の生じる場合があります。

## 平成30年度一般会計決算・歳出の内訳

一般会計決算の歳出のみみグラフ



※一般会計の決算額をベースにして平成31年3月31日現在の人口3,937人で算出しました。

決算特別委員会Q & A

税金の使い方、まちづくりを

チェック!



下水道処理施設の災害時の対策は

**問** 税、使用料等の徴収率向上の原因は。

**答** 防災無線等での広報による納税意識の向上、税機構での整理等が原因と考えている。

**問** 税の減免申請や制度周知の現状は。

**答** 通知の際に周知文書を入れてる。

**問** 30年度は人口が89人減少した。どう分析しているか。

**答** 転出が大きな要因。アンケートでは通勤、通学の不便が8割あった。

**問** 光ボックスの普及は。機器の更新が必要では。

**答** 30年度に6台増。更新費用が多額で困難。

**問** 地域防災計画の見直し内容は。

**答** 新たに原子力対策を追加した。

**問** 台風による長時間停電での上下水道機能への支障は。

**答** 8時間ほどはもつが、千葉のようなケースでは厳しい事態になる。

**問** 避難準備情報が出た際の際の要配慮者への対応は。

**答** 福祉課に名簿はあるが、実際は活用していない。

**問** 防災用の発電機の台数や管理状況は。

**答** 28台保有し梅雨前に点検している。

**問** 東部広域バスの運行状況、和束の利用数は。

**答** 月、水、金、土に1日4便運行し、十数人が利用

している。

**問** お茶の駅プロジェクト構想での新商品の開発、販路拡大の状況は。

**答** ロゴマークや紙袋、タグの製作等がある。

**問** 事業の予算の多くが未支出だった事情は。計画性がなかったのでは。

**答** 企業の活動がなかった。早めの手立てであり、無計画ではない。

**問** 下水道への接続をどう進めるのか。

**答** 未接続は法令違反であり解消したい。

**問** 昨年度の下水道の接続件数、接続率は。接続の経済的負担の軽減策が必要ではないか。

**答** 1〜2件。65%の接続率。水洗化の促進は今後の課題。

**問** 町有林間伐事業とは。

**答** 府の豊かな森を育てる府民税を活用して実施。

**問** 学童保育指導員1名が欠員のままだった。正規雇用での指導員の配置が必要ではないか。

**答** 募集をかけたが応募がなく、福祉課職員がフォローしていた。今後、努力したい。



体験交流センターでスマートワークインレジデンス事業を実施

**問** 福祉用具購入費用を委任払いに出来ないか。

**答** 早急に検討したい。

**問** 人間ドックの受診者数は。

**答** 130名が受診し、新規優先で対応している。

**問** 受診結果の連絡や相談の対応は。

**答** 結果は受診者にお伝えし、相談は医療機関でお願いしている。

**問** 海洋センタープールの屋根の改修が必要では。

**答** 改修費が約1億円かかり困難と考える。

**問** スマートワークインレジデンス事業の利用状況は。

**答** 有効活用が十分出来ていない。

平成30年度決算

一般会計決算に対する討論(要旨)を紹介します。

討論

賛成 岡田泰正 議員

子育て支援等、将来見据えた施策を評価

①少子化対策として給食費や修学旅行費の無償化、18歳まで医療費無料化など実施②移住、定住の取組みの加速③総合保健福祉センター整備に向け始動④防災力の強化などの事業推進⑤修学旅行生の農泊受入れなど交流人口拡大に向けた体制整備等、抱える課題に対応しつつ、将来を見据えた施策を展開した点を評価し、賛成する。

反対 岡本正意 議員

生活支援、定住、公共交通等の課題を指摘

①介護保険料値上げ、税等の機械的な徴収強化など住民生活を守る姿勢が弱い②空き家依存でなく町営住宅整備が必要③公共交通充実への具体化や高校生通学補助拡充に遅れ④住民の丁寧な議論と合意なく進める観光事業⑤自衛隊への若者の個人情報提供は不当⑥同和行政は終結を⑦連合による教育委員会運営の見直しなどを指摘し反対する。

# 令和元年度一般会計補正予算 3263万円増額決定

## 補正予算

### 【一般会計】

予算に3263万円を追加しました。主な事業は次のとおりです。

▽運動公園グラウンド側溝整備工事 300万円

▽下水道事業特別会計繰越金 179万円

▽簡易水道事業特別会計繰出金 426万円

▽相楽東部広域連合負担金 826万円

▽環境保全型農業直接支払交付金 115万円

▽有害鳥獣関係事業補助金 271万円

▽工事施工監理委託料 250万円

▽メンテナンスバイクコース整備委託料 50万円

▽ワールドマスターズゲームズ和東町実行委員会負担金 100万円

▽立木伐採等業務委託料 100万円

▽町道拡幅改良工事 1500万円

### 【国民健康保険特別会計】

直診勘定予算に79万円を追加。

▽心電計リース料 16万円

### 【簡易水道事業特別会計】

予算に4006万円を追加。

▽統合簡易水道工事費 2663万円

### 【下水道事業特別会計】

予算に179万円を追加。

▽浄化センター機器修繕費 100万円

### 【介護保険特別会計】

予算に63万円を追加。

▽地域包括支援システムパソコン 60万円

### 【計画の変更】

▽和東町過疎地域自立促進計画

### 【追加した項目】

・農産物販売所整備・駐車場舗装事業

・石寺橋整備事業

・広域事務組合大規模改修事業

・和東中学校屋根改修事業

・体験交流センター改修事業

▽湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画

## 主な質疑

**問** 水道委員会の内容と資料にある水道料金改定のシミュレーションの意味は。また公式の会議資料として公表の考えは。

**答** 簡易水道の運営状況等について説明し、料金シミュレーション案を提示した。最終案が出た時点で広報する。

**問** 防犯灯やカーブミラーの設置場所は。

**答** 防犯灯は1144基設置しており、カーブミラーは運動公園に2基、各区からの要望で7基設置する。

**問** 運動公園グラウンド側溝整備工事の詳細は。

**答** 運動公園周辺の側溝約160mの破損部分の改修と排水機能を修復する。

**問** 環境保全型農業直接支払交付金の交付先の件数は。

**答** 交付先は7件である。

**問** ワールドマスターズゲームズ和東町実行委員会負担金の趣旨と委員会メンバーは。

**答** 実行委員会の費用として100万円を計上。委員は町内・外の関係機関の代表等14名を検討している。

**入実証事業と導入の狙いは。**

**答** 小型のゴルフカートを導入し、実証実験で住民の意向を確認し観光や地域の足となるような運行を検討したい。

**問** コミュニティバスの運行も含めて検討されるのか。

**答** 今後の課題として考えている。

**問** 立木伐採等業務委託の予定箇所は。

**答** 別所北村から東区公民館手前までの道路。

**問** 町道整備事業の具体的な箇所とは。また通学路の早急な安全対策が必要では。

**答** 整備箇所は石寺地区内の滝の下線で、町道の維持修繕は順次対応していく。

**問** 今後の保健センター等の整備に向けて医師の確保や診療体制の充実は。

**答** 診療機能を維持していくことは重要な課題として取り組んでいる。

**問** じん芥処理費の東部連合関係負担金として826万円とあるが安全対策の今後の考えは。

**答** 当面はテールアルメの安全確保に努める。

**問** 有害鳥獣関係事業補助金とは。

**答** 野生鳥獣進入防止柵事業の不足額。

**問** 簡易水道の工事請負費とは。

**答** 湯船地内の減圧電の更新に係る工事。

改正した条例

◇和東町印鑑条例

旧氏で表示された印鑑の登録が可能となる。

◇和東町製茶体験工場の設置及び管理に関する条例

60K製茶ラインの廃止及び指定管理者の規定の追加。

◇和東町グリーン工場の設置及び管理に関する条例

ガラス温室1棟を除去及び指定管理者の規定の追加。

◇和東町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

保育料等の無償化。

◇和東町家庭的保育事業等の施設及び運営に関する基準を定める条例

法改正に伴い経過措置の期限を5年延長。

◇和東町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

支援員認定資格研修の指定都市を追加。

主な質疑

問 保育料の無償化の対象となる人数と軽減額及び負担が残る住民への考えは。

答 3歳児から5歳児が47名で10

月から3月までの保育料約470万円、2歳児以下の非課税世帯が約9名で34万円となる。0歳児から2歳児のなかで課税世帯の方についても負担が軽減できよう努めたい。

自治功労者表彰

永年にわたり本町自治の発展に貢献された次の方の表彰に同意しました。

竹内 きみ代 氏

意見書

①消費税増税の中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 1人  
反対者 8人

②減らない、暮らせる年金への制度改革を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 3人  
反対者 6人

否決

各議員の賛否

令和元年第3回定例会(9月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	
認定	委	平成30年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定	委	平成30年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定	委	平成30年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定	委	平成30年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定	委	平成30年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
否決	本	消費税増税の中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-
否決	本	減らない、暮らせる年金への制度改革を求める意見書	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。  
小西啓議長は本会議の採決に、岡田勇決算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。

# 一般質問

# 町政を問う！ 提案する！

9月11日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

## ①高山 豊彦 議員（8ページ）

1. 地域の安心・安全の取り組みは
2. ワールドマスタースゲームズの計画内容は

## ②村山 一彦 議員（9ページ）

1. シルバー人材センターの設立の考えは
2. 公共交通バスの高齢者・障害者の運賃補助の検討は
3. 農地付き空き家の対象物件はあるのか、応募方法は

## ③岡田 泰正 議員（10ページ）

1. ふるさと納税の具体的な政策メニューは
2. 農業収入保険の機能やしくみは

## ④岡本 正意 議員（11ページ）

1. 「便利なまちづくり」へ具体化を
2. 「住む場所」の整備、確保へ本腰を
3. 「会計年度任用職員制度」導入の影響は

**一般質問**は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

住民の安心・安全の確保のための  
自主防災組織体制の構築を

答

消防団組織の拡大や  
地域の自主防災組織の整備に努力する

地域の安心・安全の  
取り組みは

問

住民の生命財産を守る防  
災体制の整備状況は。

答 町長

町・区や消防団、自主防  
災組織、住民が一体となっ  
て地域の防災力を高め、災  
害時に対応できる体制を整  
え、京都府と連携を密にし  
て対策を講じるよう努力す  
ることが重要である。

問

老朽化が進み倒壊の危険  
がある空き家の安全対策  
は。

答 総務課長

農村振興課が空き家の確  
認・調査を行っており、倒

壊の危険がある住宅につい  
ては町として法律に則って  
処理する。

問

経済的な理由から改修で  
きず老朽化が著しい住宅の  
対策は。

答 福祉課長

いわゆる生活困窮者と言  
われる方の住宅等の補修・  
改修については、京都府か  
ら年間12万2000円以内  
の補修費や、特例で認めら  
れた場合18万3000円を  
上限とする支給制度があ  
る。その他、京都府社会福  
祉協議会の貸付制度があ  
る。



高山 豊彦 議員

ワールドマスターズ  
ゲームズの計画内容  
は

問

2021年に開催される  
ワールドマスターズゲーム  
ズのマウンテンバイク競技  
の参加者及び関係者の予想  
人数は。

答 地域力推進課長

前日の公式練習と3日間  
の競技期間中、選手が最大  
1200名、運営関係者延  
べ240名、観覧者等が4  
00名で、延べ1840名  
一日あたり460名と予想  
している。

問

競技場等の準備状況及び  
宿泊施設や交通アクセス等

答 地域力推進課長

は。

答 地域力推進課長

会場周辺の道路拡幅や競  
技コース等の整備を進める  
ための手続き中である。宿  
泊については分散される可  
能性があるが、外国人の宿  
泊が多いと考えられる「け  
いはんなプラザホテル」や  
JR加茂駅から湯船マウン  
テンバイクランドまでの  
シャトルバスを考えてい  
る。

問

駐車場の整備やバス滞留  
スペースの確保が必要では  
ないか。

答 地域力推進課長

競技会場近くに150  
台、その他森林公園やなご  
みの湖の駐車場と旧湯船小  
学校跡地の活用も考えられ  
る。

問

町内での宿泊など町内の  
事業者や住民と交流する機  
会を持つことで経済効果が  
生まれるのではないか。

答 地域力推進課長

町内での宿泊は山の家と

民宿や民泊など考えられる  
が、製茶時期でもあり協力  
いただけるか検討したい。

問

実施計画策定支援事業の  
委託料として最大662万  
円予定されているが、大会  
全体に係る本町の負担額  
は。

答 地域力推進課長

本年度当初予算で約6  
700万円、その他、実行  
委員会立ち上げに係る経費  
や工事費等を洗い出し、今  
後、補正をお願いしようと  
考えている。



ワールドマスターズゲームズ エンブレムとマスコット



問

シルバー人材センター  
設立の考えは

答

東部三町村で設立を目指し  
検討を進めている

問

高齢化社会になっている  
がその人材活用のために  
も、シルバー人材センタ  
ーの設立が必要と考える  
が。

答 町長

南山城村では設立済みで  
あるが、笠置、和東町では  
設立されていない。補助金  
制度の活用や年間仕事量を  
勘案し三町村での広域シル  
バー人材センター設立を目  
指し検討を進めている。

問

5月に金融庁試算とし  
て、夫婦95才まで2000  
万円、月5万円不足すると  
の報道への考えは。

答 町長

数字というものは一つの  
モデルであり、冷静に判断  
する必要がある。

問

働く場の提供は行政の大  
事な仕事と考えるが。

答 町長

和東町はまちづくりで茶  
源郷という方向性を持って  
いる。シルバー人材センタ  
ー設立も、その方向性を持  
って進めていきたい。

問

公共交通バスの乗車率が  
伸びず、町の補填額が昨年  
度3500万円になっている  
。乗車率を上げるため高  
齢者、障害者に対し運賃補



村山 一彦 議員

助を行なつては。

答 町長

平成23年から約2年間、  
一律3000円運賃で実証実  
験を行なったが効果がなか  
った。本町では高齢者が要  
支援、要介護認定を受けて  
いる方には社会福祉協議会  
より福祉有償サービスを行  
なっている。障害者につい  
ては障害者福祉サービスに  
移動支援のサービスを行な  
っている。

答 総務課長

奈良交通独自の支援策と  
して障害者手帳を交付され  
た方は運賃を半額に。高齢  
者の方にはゴールドパスと  
いう制度があり、事前に3  
ヶ月5500円、6ヶ月8  
500円の定期バスを購入

された場合、大人運賃の半  
額で利用できる。

問

小学校から湯船間の乗車  
率が低い。高齢者の多い湯  
船地区の乗車率の上昇を計  
るためにも、運賃半額補助  
出来ないか。

答 総務課長

国庫補助も含めまして、  
利用の特に少ない期間の利  
用増に向けて検討していき  
たい。

問

空き家バンクに登録され  
た物件との同時取得に限  
り、農地の取得下限面積を  
1mに緩和されたと聞くが  
対象物件はあるのか。

答 地域力推進課長

空き家バンクに登録され  
た物件には付随する農地は  
ない。

問

現在空き家バンクに登録  
された物件は何軒か。

答 地域力推進課長

登録物件は現在8件あ  
り、そのうち4件は既に成

立しており、残り4件のう  
ち2件が現在交渉中。

問

空き家に住むにはリフォームが必要だが、京都府か  
ら180万円の補助を受け  
るには特区申請が必要。現  
在、湯船地区のみ申請して  
いるが、他の3地区の動向  
は。

答 地域力推進課長

9月5日に各区長さんに  
特区の説明を実施。全ての  
地域が特区になっていただ  
く方向で事務を進めてい  
る。



空き家バンクに登録された物件

問

ふるさと納税の  
受入総額は

答

受入総額は  
600万3000円

問

2008年に設立された  
制度で、10年になるが今後  
の取り組みは。

答 町長

5つの町づくり事業に寄  
付を頂いている。返礼品は  
お茶に関係した産品で地域  
の紹介を行ってきたが、政  
策的に町づくり事業が具体  
的に解りにくいところがあ  
る。今後の課題として検討  
する余地がある。

問

平成29年度では、数億円  
を超える受入額を達成して  
いる自治体が数多くある。  
受入額の大きな開きの差は  
何なのか。

答 町長

カタログショッピングの  
競争に走る事よりも、ふる  
さと納税の趣旨に沿って創  
意工夫をして今後もしっか  
りと取り組んでいきたい。

問

本町の返礼品は受入金額  
に関わらず茶一辺倒で見栄  
えがしない。この寄付でど  
のような町づくりにしたい  
のかという姿と、価値観の  
ある返礼品で人の心を引き  
留める工夫がほしいが。

答 総務課長

ホームページは来年度予  
算で一新して、スタート画  
面にふるさと納税の画面が  
即座に閲覧できるよう検討  
したい。



岡田 泰正 議員

問

ふるさと納税をして頂く  
方は本町に関わりのある  
方々でもあり、応援をして  
下さるリピーターの方への  
働きかけも大切だが。

答 総務課長

茶源郷まつりの案内状と  
共にお礼の言葉を添えて本  
町のPR活動を行っている。  
る。

問

総合保健福祉施設整備を  
行う目的に寄付を募る事に  
取り組んではどうか。

答 町長

具体的なものを示して納  
税をお願いする事は一番わ  
かりやすい。検討する余地

があると考えている。

農業収入保険について

問

京都茶市場での本年度と  
前年度との販売実績及び金  
額対比は（8月13日現在）

答 農村振興課長

1茶碾茶の前年数量対比  
は84.8%、金額対比は  
76.5%。2茶数量対比  
は53.6%、金額対比は  
49.8%でした。

1茶煎茶の数量対比は  
101.5%で金額対比は  
94.6%、2茶の数量対  
比は156.7%、金額対  
比は122.7%でした。

1茶かぶせ茶の数量対比  
は127.6%、金額対比  
は111.1%、2茶の数量対  
比は125%、金額対比は  
108.1%以上  
の実績でした。

問

収入保険制度は  
農業経営者のセー  
フティネットとし  
て機能するののか。

答 農村振興課長

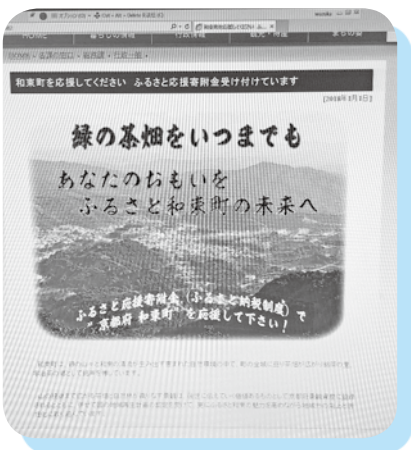
農業経営者の1年の収入  
と5年平均の収入の減少分  
を総合的に対応する保険制  
度である。特に、今までに  
なかった気象災害リスクに  
対応した保険制度で、収量  
でなく収入金額で対応する  
特徴がある。

問

収入保険の仕組みは。

答 農村振興課長

①青色申告者（5年以  
上）②1月1日～12月31日  
の期間③掛け捨ての保険料  
+積立金（積立金は選択  
制）で5年間の平均収入額  
の9割を下回った場合、下  
回った額の9割が補填され  
る。



ホームページでふるさと納税の案内

問

「便利なまちづくり」へ  
具体化を

答

年度内にゴルフカート  
運行の実証実験実施へ

問

路線バス対策協議会が長期に未開催だった理由は、協議会の軽視ではないか。

答 総務課長

会議開催の必要性がなかった。

問

路線バスの再編等の検討状況は。

答 総務課長

加茂駅から小杉までの路線は不可欠との認識で検討している。

問

当面のダイヤや運賃の改定は。

答 総務課長

来年3月にダイヤ改正を予定。午後6時台の便の確保へ調整中。運賃は消費税

引上げ分が転嫁され10円値上げになる。

問

夏休み等の期間中のダイヤも生活実態に沿ったものに。値上げ分の補填など負担軽減策を。

答 総務課長

休み中のダイヤも要望する。補填は困難。

問

コミュニティバス等の新たな交通機関の検討は。

答 総務課長

今年度中に中・東和東でゴルフカートでの実証実験を行い検証する。

問

ゴルフカートのデメリットは。観光用との併用にな



岡本 正意 議員

るのか。

答 総務課長

暑さ、寒さ、雨天などへの対応が課題。平日は住民利用、土日等は観光用と考えている。

問

高校生通学補助拡充の方向性は。

答 町長

協議会で提案したが意見集約の時間が必要。次回の協議会に再度提案する。

問

いつ頃、どんな拡充内容で実施するのか。

答 総務課長

現行の半額補助より拡充したい。少しでも早期に実施したい。

問

鉄道定期や大学生等への補助の検討を。

答 町長

今のところ考えていない。

「住む場所」の整備、確保へ本腰を

問

若者や子育て世帯向けの住宅整備を。

答 町長

住宅整備は必要だが、町営での整備は厳しい。

問

町営での整備を排除せず検討を。

答 町長

必要ないとは申し上げていない。

問

空き家活用の現状と課題は。

答 地域力推進課長

現在8件の登録があり4件で契約成立。空き家登録の拡大が必要。

「会計年度任用職員制度」導入の影響は

問

制度導入で嘱託、臨時職員の処遇は後退しないか。

任期は「最長でも1年内」となっているが再任用は可能か。

答 総務課長

後退させるものではない。再任用は可能。

問

任用方法は一般公募になるが現行の登録制との関係は。制度導入で支給可能となる各種手当は支給すべきだが財源的措置はあるのか。

答 総務課長

登録者も含め公募により選考する。手当支給の財源措置はない。

問

手当支給は検討するか。

答 総務課長

週3日以上の方への期末手当支給は検討する。

問

最低賃金の改定にともなう報酬や賃金の引上げは。

答 総務課長

基本給を改定する予定。

**総務厚生常任委員会**

**災害に備え公民館の  
備蓄品を更新**

委員長 **岡田泰正**

本委員会は、9月2日に令和元年度事業の進捗状況や、平成30年度の決算概要について事務調査を行った。決算についてはすべて黒字であった。

**総務課**

○運転免許証自主返納支援事業では、8月15日時点で4名の自主返納があった。

○災害対策用備蓄品購入事業では、14カ所の公民館に備蓄している飲料水、非常食を更新した。

○11月2日・3日開催予定の茶源郷まつりでは、たくさんのブース等設置される予定である。

**税住民課**

○国民健康保険では、139名の間ドッグ申し込みがあり、9月より受診

**福祉課**

○児童クラブの利用登録児童数は47名で、嘱託職員2名、臨時職員9名の体制で運営している。

○介護保険の7月報告分在宅サービス受給者は、153名、施設サービス受給者は82名である。

**各委員からの質疑**

○奈良交通路線バス通学定期の補助利用状況や、加茂行ききの白栖口バス停の乗降者や通行車の安全対策は。

○光ボックス設置446件で、実利用が少ないと思うが、追跡調査はしているか。利用促進へ広報活動の必要は。

○和東町観光大使への活動

費の援助は。

○ボランティアコーディネーターの仕事内容は、和東診療所のジェネリック薬品の購入割合は、国ではシップ薬やビタミン剤など病院で出さず、一般薬局での対応との審議されているが、高齢者や弱者への負担増ではないか。

○老人福祉センターの施設稼働は、利用状況は。

○税の収納状況は、本年度は徴収率が向上し、良成果ではあるが過年度が低いので、さらなる徴収向上に努められたい。

等の質疑があった。

現地調査では、和東保育園給食調理現場の見学を行った。



災害時の非常食の更新

**広域連合議会報告**

**相楽東部広域連合議会**

令和元年第2回定例会が8月2日、笠置町議会場において開催されました。

3名の議員が一般質問を行いました。続いて笠置町中央公民館設置及び管理に関する条例の廃止条例が提案され、公民館機能を他の施設に分散・移転することで従前の事業を継続するもので、全員賛成で可決しました。

令和元年度一般会計補正予算は、4622万円を追加し、クリーンセンター擁壁などの安全対策調査費が計上され、賛成多数で可決しました。又、物品購入契約締結については、小中学校の校務用パソコンを購入にしますので、全員賛成で可決しました。

**京都府後期高齢者医療広域連合議会**

第2回定例会が令和元年8月9日に開催されました。

議長選挙が行われ、京都市の下村あきら氏を選出した。続いて副広域連合長に河井木津川市長、山内京都府副知事、監査委員に宇治市の関谷智子議員、公平委員会委員に舞鶴市の足立清治氏を選任しました。

2名の議員の一般質問の後、平成30年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算を認定しました。

平成30年度決算

特別会計	一般会計	
	歳入総額	歳入総額
歳出総額	3482億6335万円	11億6434万円
歳入総額	3578億5474万円	9億1574万円

**産業常任委員会**

ワールドマスターズゲームズ  
**WMG**まで2年

**準備の進捗状況は**

委員長 **吉田哲也**

本委員会は、8月30日に令和元年度の事業の進捗状況や平成30年度の決算の概要などについて事務調査を行った。

- 9月21日に京都きづ川アクティビティフェスタが開催され、茶つみ体験や茶香服体験、ゴルフカート茶源郷見学ツアーなど実施予定。
- 茶源郷わくわく農業体験満喫事業では、郷土料理発掘事業やマルシェを開催予定。
- 教育観光では、6月末までに修学旅行生や校外学習の受け入れを7団体723名、日帰りでは20団体685名を受け入れた。

**地域力推進課**

- インバウンドの農泊は、6月末までに10団体150名、日帰りは10団体180名を受け入れた。
- ワールドマスターズゲームズ(WMG)に向けて競技コースの整備を行うため、現在、保安林解除を申請している。

**農村振興課**

- 生ごみ減量化推進モデル事業として原山地区に設置していた処理機を、利用者の減少等により30年度で終了し撤去した。
- プレミアム付商品券は、商工会に委託予定である。

**建設事業課**

- 繰越事業として30年に発生した農地・道路橋梁・

河川災害復旧事業は年内完成予定である。

**委員からの質疑**

- 10月からの消費税が増額される。農業・観光・商工などまちづくりへの影響は。
- 今年の碾茶の値段は低く、基幹産業の安定性からも所得補償など広域的な取り組みが必要ではないか。5月の晩霜被害についてもっと早い対応、対策を。
- 2年後にWMGが開催されるが、保安林解除にかかる時間がかかっている。工事等間に合うのか。
- 来年度に予定されている水道料金上げの具体的なスケジュールや住民への説明は。
- 現地調査では、2年後に開催されるWMGでマウンテンバイク会場となる湯船森林公園の工事予定地で工事内容や今後のスケジュールなど説明を受けた。

**広域連合議会報告**

**京都府地方税機構広域連合議会**

令和元年8月3日、定例会が開催されました。初めに、議長、副議長の選挙が行われ、議長に京都府議会の秋田公司議員、副議長に宇治市議会の中村麻伊子議員を選出しました。

京都府地方税機構第3次広域計画変更の件は、機構が処理する事務として、償却資産に係る固定資産税課税事務を追加、10月からの自動車税及び軽自動車税の環境性能割・種別割の導入並びに特別法人事業税の創設等について変更されるもので、賛成者多数で可決しました。

平成30年度一般会計歳入歳出決算について認定しました。

また、2人の議員が一般質問を行い、今後の方向性や納税者の立場に立った徴集業務などについて質問されました。

一般会計	歳入総額	24億9023万円
	歳出総額	24億8871万円



ワールドマスターズゲームズ  
開催予定地を現地調査

まちの  
“元気”を  
訪ねて

# 「極上の和宝へ」というスローガンのもと 関西茶品評会で2等獲得 「～和東中学校生徒会～」

和東中学校生徒全員で製茶に取り組み、出来上がったお茶が、今年の関西茶品評会で見事「2等」に入賞されました。生徒会本部役員のみならず、皆さんにお話を伺いました。

**Q** 製茶を始められて何年になりますか？

**A** 総合学習授業の中で、10年前ぐらいから始めました。お茶摘みは、それ以前よりやっています。

**Q** 製茶に取り組んだきっかけは？

**A** 自分たちの手で茶摘み、雑草抜き、肥料やりなどの作業をする中で、お茶が出来るまでの工程を知り、主産業であるお茶の勉強をしていく中でやりがいや親しみを感じました。

**Q** 入賞した時の気持ちは？

**A** 「まさか」という驚きとうれしい気持ちでいっぱいでした。

**Q** 製茶の時に気を付けていることは？

**A** お茶を摘む時は、爪を立てないこと、一芯二葉を意識して摘むこと、より良いお茶にするために茎取りも行っています。

**Q** 新茶会（各区公民館でお茶をふるまう）はどんな思いでやってもらえるか。

**A** お茶は、自分たちだけでやっているわけではないので、地域の人に感謝の気持ちを伝えると同時に、自分たちの作ったお茶を知ってもらうために行っています。

**Q** 今後、挑戦してみたいことは。

**A** お茶に関連した商品づくりや、和東のお茶をもっと広く知ってもらいたいので、新茶会や茶源郷まつりなどイベントで海外など幅広くPRしたいと思います。



島田琴奈さん、森野由澄さん、長西輝流さん、中井貴誠さん、土田和紗さん

（取材 岡本正意・井上武津男）

\*「和宝」とは和東中学校で作っているお茶です。

第4回定例会は、12月12日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

## 編集後記

日ごとに秋も深まり、朝夕は一段と肌寒く感じる季節となりました。日本列島においては、台風15号・19号の直撃などにより、かつてない甚大な被害をもたらしました。被災された方々には心よりご冥福とお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

わが町は、幸いにも被害はほとんどなかったのですが、近年の気象状況ではいつどこで災害が起きるかわからない状態になってきています。一人一人の防災意識が問われる中、私たちは常日頃から危機感を持ち非常事態に備え、予防に努めなくてはならない事を改めて痛感いたしました。今後、何事においてもその事を胸に刻み、議会活動に邁進してまいります。

今回の議会だよりは、9月議会で審議された内容として主に平成30年度の決算を中心に編集しています。今後みなさんに読んでいただける充実した議会だよりの発行を目指してまいります。

（岡田 勇）

## 広報編集委員会

- 委員長 岡本正意
- 副委員長 井上武津男
- 委員 高山豊彦
- 委員 畑武志
- 委員 岡田勇